

第31回

子どもと大人で
楽しむ、学ぶ

けん

り

じょう

やく

子どもの権利条約

フォーラム 2023

inとよた

大会テーマ

知って♪感じて♪こどものけんり
～「しってる」から「^{マル}〇〇」へ～

報

告

書

11/25^土

会場

豊田市コンサートホール
豊田市駅東口まちなか広場
(旧とよしば)

11/26^日

会場

豊田産業文化センター
豊田商工会議所

主催：子どもの権利条約フォーラム2023inとよた実行委員会 共催：豊田市

も く じ

はじめに 宝物探しの旅のつづきをみなさんといっしょに	2
「フォーラム2023inとよた」に関わって	3
概要	4
フォーラムを開催して	7
ゴールではなく、新たなスタート台に—子どもの権利条約フォーラム2023inとよたに思う	8

プレフォーラム

プレフォーラムの意味	9
サマーカレッジ『戦争と子どもの権利』喜多明人さん講演会	10
オータムカレッジ『木村泰子さんと語り合う!子どもアドボカシー文化ってなんだろう?』	11
ウインターフェスティバル『こどもライトまつり』	12
スプリングカレッジ『 チャイルドライン 声をきく活動からみえるこどもたちの今』	14

フォーラム

開催スケジュール	16
----------	----

1日目

2日目

■	全体会	17
■	出張!プチ・プレーパーク	26
■	とよたの名品販売、30年あゆみパネル展示など	28
■	分科会	29
■	子ども [※] 企画	69
■	■ おやこであそぼう!ほっとスペース	72
■	■ ゆかいに どんちゃか 大道芸	74
■	■ パネル展示	77
■	■ クロージング	78
■	■ キッチンカーマルシェ、総合インフォメーション、物販	81
■	■ みんなの「〇〇」ツリー	83

そ の 他

実行委員会のあゆみ	86
子ども参加のあゆみ／子どもの声	89
行政との共催について／豊田市担当者からの言葉／今後のうごき	94
アンケート結果	96
参考資料	102
協賛等企業・団体一覧	109
編集後記	110

宝物探しの旅のつづきを みなさんといっしょに

実行委員長 石井拓児
名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教授／豊田市子どもの権利擁護委員

フォーラムの全体会のあいさつで、私は、2日間のプログラムのあちこちにちりばめられた「子どもの権利という宝物」を探しに行こうと呼びかけました。ひとりひとりの子どもの命と尊厳、これを尊重し保障するために明らかにされてきた子どもの権利の数々は、宝石のようにキラキラと光り輝いています。「子どもの権利メガネ」を装着すれば、誰にでも見ることができます。

子どもの権利のなかには、すでに明らかにされてきたものもあれば、じつは、まだ見つかっていない、これから発見していくものがまだまだたくさんあります。私たちの宝探しの旅はまだまだ続きます。

オープニングの全体会で堂々と自分の意見を述べた子どもたちの姿に、子どもの意見表明権のこれからについて期待と希望を感じた方も多かったのではないのでしょうか。年齢も性別も違う子どもたちが、高さや色の違うイスに腰掛け、自分の気持ちを話してくれました。子ども同士がそれを受け止めるようにして、うんうんとうなずきあっていましたし、会場全体にもその雰囲気がいっぱい溢れていました。発言者の中に、自分たちの気持ちをこんなに受け止めてもらえて幸せでした、そして、会場の私たち大人にありがとうと言ってくれた子どもがいました。私は幸せいっぱいの気持ちに包まれました。

ユニセフが用意してくださった「子どもにやさしいまちづくり」の分科会で、私は司会を



させていただきました。ミュンヘン(ドイツ)のまちづくりの事例につづいて町田市と豊田市の取り組みが紹介されました。子ども条例をもつ豊田市ならば、もっともっと素敵なまちをつくることのできるのかもしれない、それはきっと、もうひとつの「世界の豊田(そしてそれは私たちの創る本当の意味での世界の豊田)」につながっていくのではないかと。私はそんな新しい夢と宝物をつかむことができました。

最後に、みなさんにお願いがあります。見つけた宝物をみんなで分け合いましょう。子どもたちに届けましょう。この宝物は仲間や友達に分け与えても決してなくなったりはしないのです。今後も私たちの宝物探しの旅が、実りあるものとなること心より祈念して、お礼のことばとさせていただきます。

「フォーラム2023inとよた」に関わって

副実行委員長 釘宮順子
フリースペースK

今回、「子どもの権利条約フォーラム」で副実行委員長にとお声がけをいただいたのが春のことでした。フォーラムには関心があり、何かボランティアで関わろうと思っていましたので引き受けました。既に、プレフォーラムから動いている方々がいる中、途中からの副実行委員長としての関わり方を模索しながらでした。まずは実行委員会で4分野のチームに分かれて準備を進めていましたので、私は「お楽しみチーム」に入りました。チームでは子育て中の方々の感覚・視点を大事にして進められました。私は傍らにいただけでしたが、皆さんの熱い思いや細やかな気づきと動きに学ばせていただきました。定例の実行委員会には、いつも遅刻しての参加となりましたが、全体の進捗状況の把握と実行委員会の皆さんと少しでも触れ合い、雰囲気を感じたいという思いがありました。全体会と37の分科会、各チームの動きという膨大な作業を事務局の方々を中心に各チームの方々が熱心かつ真摯に取り組む様子に感心すると共に、少しでも良いものにしようという熱量、速やかな動きから学びました。実務的なことは、事務局や各チームでしっかり取り組まれていたので、私は皆さんが疲れすぎず、少しリラックスして当日を迎えられるようにと願いながら関わりました。

11月25日・26日の「子どもの権利条約フォーラム2023inとよた」では、全体会の基調講演で、大谷美紀子さんが「日本では権利と義務がセットという反応がよくあるが、権利は子どもにあり、義務は大人にある」と話しました。「子どもの権利を知ると自由になる」という子どもの発言もあり、子どもも大人も権利について知り学ぶことで、誰



出張!プチ・プレーパークにて遊ぶ釘宮さん

にとっても生きやすい社会になると思いました。2日目は午前と午後で37の分科会が開かれ、どの分科会も多くの参加者で、熱心な話し合い等が行われました。私も分科会「広めよう!自治体による『子どもにやさしいまちづくり』の実践」でパネリストという機会をいただきました。また、フォーラムをきっかけに「子どもの権利」に関心を持ってもらおうと、いくつかのお楽しみ企画が行われ、クロージングでは大会テーマ「知って♪感じて♪こどものけんり〜「しってる」から「○○」へ〜」の「○○」に入る言葉にたくさんの参加者から言葉が寄せられました。嬉しいことは温かいフォーラムだったという声が多く寄せられたことです。その声を後押しにして、「知って、感じて、子どもの権利」の輪を広げていきましょう。

概要

1. 実施概要

《日程》2023年11月25日(土)、26日(日)

《場所》11月25日 豊田市コンサートホール、多目的ルーム(愛知県豊田市西町1丁目200番地豊田参合館)

11月26日 豊田産業文化センター1階～4階(愛知県豊田市小坂本町1-25)

豊田商工会議所(愛知県豊田市小坂本町1-25)

《対象》子どもから大人まで、一般市民ならだれでも

《参加費》原則無料(資料代等実費負担の分科会あり)

《主催》子どもの権利条約フォーラム2023inとよた実行委員会

※実行委員会構成団体 20団体

2. フォーラムの実施目的とねらい(趣旨)

国連『子どもの権利条約』の普及と、子どもの権利について関心を寄せる人々の意見交換、出会い、交流の場として始まりました。1993年から子どもの権利条約採択記念日(11月20日)前後に、全国各地でこれまで延べ30回開催されています。毎回2日間で、延べ1,000人近い参加者が開催地及び全国、そして海外から集まり、子どもを取り巻く環境や課題について、現状報告、意見交換を行っています。

3. 当日参加者数について

※子ども発企画、お楽しみ企画、
クロージングの参加者概算

全体会		1,067
内 訳	会場参加	700
	オンライン	367
分科会		1,065
内 訳	大人	809
	子ども	256
全体会・分科会合計		2,132

出張!プチ・プレーパーク		130
おやこであそぼう!ほっとスペース 25日		20
おやこであそぼう!ほっとスペース 26日		100
こどものまち、部屋		502
ゆかいに どんちゃか 大道芸		350
クロージング		259
内 訳	大人	156
	子ども	103

4. 広報、協賛、PR活動について

一般企業や市民団体、学生団体等に子どもの権利条約の理念を周知し、フォーラム開催の協力をお願いすることを主な目的としていましたが、副産物として、その広報活動を通して互いに知り合う貴重な機会となり、また、市民の権利意識の機運を高め、「社会のムーブメント」へとつなげようという意識をもって取り組んできました。しかし現実には厳しく、人手を割けない現状に苦しみました。今回、行政の担当者の方が尽力くださったことで一市民では繋がりにくかった企業様からの協賛寄付協力を得ることができたことはありがたかったです。

また、学生団体の巻き込みがうまくできなかったことが悔やまれますが、数名の学生と個人的に出会うことができ、フォーラムに関わってくれたことはとても大きな財産です。

(1) 協賛等企業団体について

スケジュール

4・5月頃 実行委員会にて、企業協賛を募る旨の承認を得る

5月～ 協賛案内作成・企業への案内

8月末 協賛企業募集第一次メーチェ

成果

協賛金、当日パンフレットへの広告、当日配布の協賛品の提供、
ポスターやチラシの設置、社員へのイベント周知 など
協賛・寄付・協力企業団体 24社

(2) 広報・チラシ

<チラシ>

4月初旬 プレフォーラム(チャイルドライン高橋弘恵さん)募集チラシ(600部)

5月末 フォーラム概要チラシ(カラー600部、モノクロ増刷7,000部)、ポスター数部

8月末 一般参加者募集チラシ(カラー1,200部、モノクロ増刷40,000部)、ポスター(1,000部)

11月中旬 当日プログラム(カラー1,200部)

3月末 報告書(1,500部)、ミニ絵本(2,000部)

<広報とよたへの掲載>

4月号:プレフォーラム(高橋弘恵さん)参加者募集

6月号:分科会実施団体募集説明会

9月号:追加サポーター・運営に参加したい子ども(司会やステージ出演など)募集

10月号:一般参加者募集

3) 主なPR活動(ブース出展)

イベントに出展し、フォーラムの開催と子どもの権利条約の理念を広める活動を行いました。

	イベント名	内容
5/21(日)	ふじおかプレミアム(藤岡)	ポスター掲示、チラシ配布など
5/28(日)	多様な まなび マルシェ Huna(岡崎)	ポスター掲示、チラシ配布など
10/1(日)	第7回WE LOVE とよたフェスタ (スカイホール豊田)	ポスター掲示、チラシ配布など
10/12(木)	地域共生社会推進全国サミット inとよた(参合館)	ポスター掲示、チラシ配布など
11/4(土)	Wakka Marche(若林八幡宮、浄照寺)	ポスター掲示、チラシ配布など

* ブース出展の他にも、さまざまな機会に告知活動などをしました。

5. 認証マーク制度について

「子どもの権利条約に賛同します!」という認証マークを作成し、申請により、実行委員会の企画運営ではないが、子どもの権利条約フォーラムの趣旨に沿ったイベント等の告知物に使用できるようにした。

《目的》

- フォーラムに向け、広く子どもの権利の機運を高めていくため
- 関連団体と繋がるきっかけにするため



【認証マーク】

認証マーク付きイベント

開催日	イベント名(内容)	実施主体
7/25	この指とまれ組 あつまれ!ちびっこかいじゅう! こわせ!やぶれ!あばれろ!	フリースペースK
10/1	生きる力を育む“じかん” ～ゆめパのじかん上映会&がくちゃん講演会～	とよたプレーパークの会
10/29	おかしケンチク ～駄菓子を買って、 「みんなが集まる家」をたてよう～	オカシア
11/25	こころの健康づくり講演会 若者のこころのSOSに 寄り添う～こころの回復のプロセスと支援について～ 講師:明橋大二先生(真生会富山病院心療内科部長)	豊田市(保健支援課)
11/25	チェルノブイリ原発時事故で急増した小児甲状腺 がんが福島でも350人を超えていることを知って いますか 甲状腺がんとなった子どもの声をきく	311甲状腺がん子ども 支援ネットワーク
11/26	教育講演会 ダイヤモンド☆ユカイ トークショー PTAも子育ても“ユカイ”にロックンロール	豊田市PTA連絡協議会
12月～3月	稲武の山 プレーパークであそぼうよ	稲武プレーパーク
2024年 1/13	『武器としての国際人権』著者 藤田早苗さん講演会 同じかな?人権と思いやり	藤田早苗さんのお話を聞く会・ こどものマイクけんきゅうかい

フォーラムを開催して

副実行委員長／事務局長 安藤順

第31回目のフォーラムに様々な形で関わってくださった子たちへ。(以下、難しい言葉は大人に聞いて下さいね。)

「フォーラムは温かい場所だった、楽しくて安心できる時間だった。」そんな声を寄せてくれた子たちが多かったこと、そして大切な国際人権条約を広めるお手伝いができ、次回開催地の東京にバトンを渡せたことを安堵しています。

「新しい友達ができちゃうような時間をたくさん作れたら良かったな。」とか、ふりかえればいろいろ思い浮かびますが、関わるみんながベストを尽くした、精一杯のフォーラムだったのでは、とも思います。

子たちを一人の人として認めて人格と尊厳を守り安心して暮らせるようにする地球規模で広がる条約の存在を、みなさんは学んで知っています。または、今回少し知りました。誰もが「今この世界と一緒に生きるかけがえない一人の人」だから、互いに「大切にする」というのが、人権の理念です。人権は、自分を大切にし、他人も大切にし、違いから豊かな社会を生み出そうとする(長い人類史では比較的)新しい考え方です。宗教、生まれ育った環境や文化、心身の障害の有無、お金のあるなしなどに左右されないため、子どもも例外ではありません。

ここまで読んで、溜め息をついた子たちがいるかもしれません。世界のどこかで戦争が行われていますし、社会の歪みに晒されて命までも失う人たちが沢山います。また、顔見知りの子たちがこんなことをつぶやいているのを聞きました。「期待に応えるのは疲れた。もう命なんて煩わしい。消えたいの。」「しなくてもいいことをする大人、してほしいことをし



ない大人は自由権と社会権をそもそもわかっていない。そしてもっと声を聴いてほしい。」「大人の都合に振り回されて、全然、ハッピーじゃない。」

フォーラムなどのアクションは種まきだと、大人は言います。それはたぶん事実です。長年の大勢の人たちによる取り組みの結果、子ども基本法ができました。国や自治体の子ども施策予算の優先的な配分に加え、家庭・施設・学校等において、罰やマルトリートメントを無くす動きが今後ますます加速するはずで

す。しかし同時に、常に今は大切です。子どもという存在は、未来に輝くことを大人から強いられ、今を我慢させられがちです。

仕組みを整えるまで待てません。フォーラムを終えた今、子どものみなさんが生活圏＝暮らしの中で権利が実現されている!と感じられるようにすることが、何よりも最優先で大切だと感じています。

ゴールではなく、 新たなスタート台に —子どもの権利条約フォーラム2023inとよたに思う

(呼びかけ団体) 子どもの権利条約ネットワーク代表 喜多明人

この31回目の子どもの権利条約フォーラムがとよたで盛大に行われたことをうれしく思います。一日目、安藤順さんたち実行委員の下支えのもと、国際的な音楽祭ができそうな素晴らしい舞台上、子どもたちが生き生きと語り合っていたことが印象深いです。二日目、愛知県弁護士会が主宰した分科会の基調講演をしていた時に、その舞台が前年夏休みに「戦争と子どもの権利」講演を行った場であることを思い出しました。来年は、東京フォーラムですが、子どもの権利条約の前身であるジュネーブ子どもの権利宣言が第一次世界大戦を契機として国際連盟で採択されて100周年を迎えます。ウクライナ、ガザで戦争が続いているさなかでのフォーラムの意味をかみしめたいと思います。



このフォーラムは、ゴールではありません。そこから新たに様々な活動が生まれていってほしいと思います。1997年の神奈川フォーラムが契機となって川崎市子どもの権利条例づくりが始まりました。2009年の富山フォーラムでは、富山子どもの権利ネットワークが、2016年の大阪フォーラムでは「関西ネットワーク」が、2018年の栃木フォーラムでは、「とちぎ子どもの権利ネットワーク」がそれぞれ立ち上がって現在まで活動を続けています。

愛知の子どもの権利ネットワークが大きく前進していくことを願っております。

プレフォーラムの意味

副実行委員長／子どもの権利条約フォーラム2023inとよた準備委員会代表 安藤順
こどものマイクけんきゅうかい代表

フォーラム開催前の1年間で、趣の異なる4つのプレイベント(プレフォーラム)を開催しました。

重要な国際人権条約である子どもの権利条約の存在と、条約の理念の普及と啓発のため長年に渡り全国で開かれてきた市民フォーラムの開催を市民に告知するだけでなく、子どもの尊厳と権利について学び、考え、想いを巡らせる機会、市民同士や市民と行政が対話する機会を作りたい、と考えました。

フォーラムを一緒に作り上げる仲間探しの意味、フォーラムに関わろうとする大人たちの「子ども観」のすりあわせの意味もありましたが、「4つの異なる入り口」を設けることで、指向、属性等が異なりつつも、子どもの権

利を軸とした多様なコミュニティの萌芽を期待したのは、フォーラム当日のみの盛り上がりで終わらないようにするためです。

コミュニティには子どもたちも含まれます。低年齢の子どもたちも主役として参加できるプレフォーラムは、3番目に開いた『こどもライトまつり』のみでしたが、初めて会った子たちがワークショップや遊びを通じて自然と楽しく交流するための実験を試み、フォーラムにおける子ども参画(参加)に生かそうとしました。しかし国際人権条約に馴染みがなく、権利学習の機会が乏しい子どもたちをフォーラムにどのようにいざなうか、ロジャー・ハートの唱えた「参画のはしご」の概念図を幾度も見返すことになりました。



喜多明人さん講演会（早稲田大学名誉教授／子どもの権利条約ネットワーク代表）

『戦争と子どもの権利』

子どもの平和に生きる権利、自己の意思で共に生きる権利を考える

— こども基本法のもとで生きる子どもたち —

実施日時 2022年8月20日(土) 10:00～11:45

実施場所 豊田産業文化センター 小ホール

主催 子どもの権利条約フォーラム2023inとよた準備委員会

共催 豊田市／こどものマイクけんきゅうかい 参加者数 80名

担当スタッフ こどものマイクけんきゅうかい：有馬直美、安東由紀、磯村美沙希、伊藤真千子、岩崎笑美、
浦川由香、小形美和子、小田美里、葛山有咲、木村宏江、倉知久美子、佐戸川真紀子、菅井真紀、
鈴木佳代、曾我部智子、田島真実、中野真樹子、林綾、三橋由佳、安藤順
愛知県立大学大学院：和泉真弓、大河内彩華、藤江知子

実施内容

《目的》フォーラムの告知、子どもの権利の普及と啓発、子どもの権利と子どもの権利条約を基礎から学ぶ機会の提供、こども基本法の意義の周知など

《主な内容》

I.【第一次世界大戦と子どもの権利国際化の始まりー子どもの平和に生きる権利を考える】

■ イグランティン・ジェップ女史のとりくみ

■ 第一次世界大戦後の敗戦国ドイツの子どもたちの救済問題・国際児童救済基金団体の設立（セーブ・ザ・チルドレンの前身）

■ 国際連盟ジュネーブ宣言（1924年）から国際連合子どもの権利宣言（1959年）へ

■ 第二次大戦後の敗戦国日本の子どもたちの救済問題・ロシアのウクライナ侵攻と子どもの権利

II.【第二次世界大戦とヤヌシュ・コルチャック】

■ 戦災孤児が集まる孤児院から生まれた「子どもの意見表明権」

III.【こども基本法の成立と子どもたちー子どもの権利条約から子どもの権利条例、こども（の権利）基本法へ】

■ 子どもの権利を保障していく法的基盤の確立

■ 豊田市子ども条例の制定と意義

■ こども基本法の成立と意義



参加者の声

「次世代を担う自分たちにどういう権利が保障されていて、子どもたちがこれからどういう風に過ごしやすいようになるべきなのかを学びなおせた気がします。とても良い経験になりました。」

「障害の分野で課題になっていることと重なる部分が多かったです。自分に何ができるのか、やりたいのか、考えてみたいと思いました。」

スタッフの声

「子どもにやさしいまち是谁にでもやさしいまち、と学びましたが、逆に言うと、子どもの困りごとはみんなの困りごとなのかな、と思い巡らせました。」

オータムカレッジ

映画「みんなの学校」上映会・木村泰子さん講演会（初代大阪市立大空小学校校長）

『木村泰子さんと語り合う！ 子どもアドボカシー文化ってなんだろう？』

実施日時 2022年10月9日（日）10:00～11:50／13:30～15:30

実施場所 豊田市福祉センター 41～44会議室 **主催** 子どもの権利条約フォーラム2023inとよた準備委員会

共催 豊田市／こどものマイクけんきゅうかい **参加者数** 映画観覧110名 講演会148名

担当スタッフ こどものマイクけんきゅうかい：有馬直美、安東由紀、磯谷綾、磯村美沙希、伊藤いぶき、伊藤佳祐、伊藤真千子、岩崎笑美、浦川由香、小形美和子、小田美里、葛山有咲、木村宏江、倉知久美子、小松昌世、佐戸川真紀子、菅井真紀、鈴木佳代、田島真実、服部彰子、三橋由佳、安藤順
童子山小学校：蕃文香

実施内容

《目的》フォーラムの告知、子どもの権利の普及と啓発、学校における子どもの権利擁護と保障及び子どもの気持ちや考えを大切にすること環境と文化について学ぶ機会の提供など

《何をやったか》

◎第一部 映画「みんなの学校」上映会

◎第二部 講演会 講師：木村泰子さん（初代大阪市立大空小学校校長）

《主な内容》木村泰子さんは、子どもの権利条約の第29条、23条、12条、3条に掲げられている理念の実践者です。「どんな特性や個性があろうとも誰も排除せず、全ての子どもの学習権を保障して、誰もが安心して学べる居場所」としての学校づくりに尽力されました。「障害を理由に子どもを分断する場では、学びの本質は生まれない。」「子どもは子ども同士の関係性で育つものだ。」と常々おっしゃる木村さんのご経験談と、校長を務められた大空小学校の日常を切り取ったドキュメンタリー映画を通じて、子どもの尊厳と権利の大切さと地域全体で子どもを育むことについて学びました。



参加者の声

「子どもの思いをカタチにしてあげられないシステムの不都合に悩んでいます。子どもがあらひのままの自分の言葉を出せるようにしたいが、多分顔色を伺って話している。」

「厳しい先生に軍隊みたいに育てられた子たちのクラスで授業をすると、同じように厳しくしないと出来ていたことが出来ない。」

「地域支援本部として、学校と地域を繋ぐ役割を全うしたいと思いました。すぐには変わらないと思うけど、いつか大空小学校のように、地域の方が自然に関われる雰囲気になるといいなと思いました。」

「ついつい自分の中で考えて自己完結しがちなのですが、子育ては一人ではできないです。家族と、仲間と、地域と、一体となって育ちあっていきたいです。」

「成績やカリキュラムがあることで楽しく学ぶことに制限がかかる。子どものいろんな状況や気持ちに寄り添いたいのに、テストや評価をしなければいけないという板挟み状態になる。」

「バイブルのように捉えていた新学習指導要領が国連から勧告を受けていると知り、勉強したいと思った。障がい者の人権の理念、分離教育、統合教育とインクルーシブ教育の違いなど。日本のやり方が正しいと思っていたが、自分で問い直さなければ、と思った。」

「日頃から、失敗を恐れるな、と言っていました。失敗したらやり直しをすれば良いんだよ、に変えようと思います。」

『こどもライトまつり』

実施日時 2023年1月29日(日) 10:30～14:00 **実施場所** とよしば(豊田市駅東口まちなか広場)

主催 子どもの権利条約フォーラム2023inとよた準備委員会 **共催** 豊田市

協力 こどものマイクけんきゅうかい、とよたこどものけんりフレンズ

参加者数 約500名(こどもライトタウンに住民登録した子どもたち134名、ゴースト役108名、子ども出店25人／12店舗、大人マルシェ45人／19店舗、スタッフ48人、その他参加者等 約140名)

担当スタッフ 豊田市子ども会議＋市民有志サポーター＋とよたこどものけんりフレンズ：浅井千夏、筋生田和哉、荒川優、石原梢、弥田美雪、有賀都、内田美穂子、大迫美奈子、加納玄暉、川畑勝亮、高須聡美、田中真美子、杉山佐由紀、鈴木彩水、鈴木英衣、竹端達治、中尾夏生、西村新、前田容子、前田竜平、山崎はやと、吉橋久美子 他
こどものマイクけんきゅうかい：有馬直美、安東由紀、磯谷綾、猪飼由美子、磯村美沙希、伊藤佳祐、伊藤真千子、岩崎笑美、浦川由香、小形美和子、葛山有咲、葛山咲彩、金山紀子、小松穂乃、小松昌世、曾我部智子、鈴木佳代、田島真実、中村栄子、中村京平、林綾、藤川裕子、山内裕雅、水谷志保、三橋由佳、安藤順

実施内容

《目的》キックオフイベントとしてフォーラムの告知、子どもの権利の普及と啓発、まちづくりのワークショップ

《主な内容》

■ミニキッズタウンラボ(こどもライトタウン)

■大人マルシェ

■ライアーとうたのコーナー(♪ゆなりら)

■子どもの権利条約フォーラム2023inとよた開催宣言式(安田明弘 豊田市副市長、石井拓児 実行委員長)

《こどもライトタウンの仕組み》

◎＜ゴースト＞こどもライトタウン(以下タウン)に入れるのは子だけ。大人はゴースト契約書にサインすれば入国可。ゴーストは子を支えたり守ったりはできるが子が望まない余計な干渉(過干渉)はできない。あくまでも黒子役として子を助ける。



◎仕事をしたり遊んだり学んだりしたい子はライト市役所で住民登録する。ライトハローワーク(おしごとしょうかいじょ)でもらった仕事紹介葉っぱをお店に渡して働く。

◎お店はライトハローワークに求人登録できる。

◎タウンで商売する子(外国から来たジブシーの子という設定)はハローワークで就労ビザを取得する。

◎住民票または就労ビザを取得してタウンに入った子はもれなく1ライト(こどもライトタウン通貨=ライトマネー)を支給される。1ライトの価値は変動するが概ね50円程度の価値にコントロールされる。ライト銀行の両替所で1ライトを5どんぐりに替えられる。

◎お店は子を1人雇うと銀行から1ライトもらえる。

◎お店で働く子は15分働くと1ライトを支給される権利を得る。お店は雇った子が15分働いたら紹介葉っぱに就労証明サインをする。サインがなされた葉っぱは小切手になりライト銀行で1ライトに交換できる。

◎子が連続して働ける時間は15分。15分働いたら必ず休憩。店番は必ず一人置く。

◎タウンの周りにある大人マルシェもこれらの仕組みに参加できる。

◎お店の子以外の子(住民となった子)は入手した1ライトの現金化はできずタウンか大人マルシェで使い切るかタウン内納税センター等に寄附する。お店はタウン終了後、集まった1ライトやどんぐり、就労ビザを銀行に持ち込み換金できる。

《こどもはおとなのふるさとのうぜいシステムについて》

◎タウンを支えるのは住民の税金。新しい住民(子)は納税を免除。昔は子だった大人たち(ゴースト、たまたまタウンを通りかかった大人、たまたま子どもがこどもタウンの住民になってしまった保護者)が納税できる。税金が悪用されないよう透明性の高い投げ銭箱を採用。この納税システムを活用して会場の賃借料等、様々な支払いがなされる。

《大人マルシェ出店者》

anam fairtrade&naturai(アナム)・NPO法人ユートピア若宮 つむぎ・オーガニック安藤・小川テント・こどもみらいごはん・あそびとくらしとまなびの家 ちゃぽっと・スマイリングキッチンLABO・ゆるっと♡ほけんしつ夢カフェ・いとカフェ・こびとので・空飛ぶ羊・〇七(マルナナ)商店・こいけや養蜂園・Frank the 539・未来ラボステーションYY・ニコバルーン・tonatsu*・美と健康サロンBe-jin・りすまいるステーション・magocoro base

参加者の声

■子どもたちが主体的に街の市民として動いていて、そのようになる仕掛けも絶妙に良かったです。

■たくさんの交流があった素敵な1日。どの子達もイキイキ。寒い日でしたが楽しかった。

スタッフの声

■子どもは大人が思うより100倍の力があると実感。とにかく楽しい1日でした。

■ゴーストになった大人の眼差しに温かさを感じました。たくさんの大人が現れて手伝ってくれました。



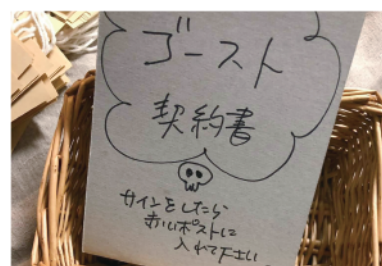
ライト市役所とライトハローワークに
並ぶ子どもたち



お仕事中的子どもたち



大人マルシェで楽しむ子どもたち



ゴースト契約書



♪ ゆなりら

高橋弘恵さん講演会・勉強会（特定非営利活動法人 チャイルドラインあいち）

チャイルドライン『声をきく活動からみえる こどもたちの今』

実施日時 2023年5月13日（土） 講演会10:00～12:00／実行委員向け勉強会13:00～14:00

実施場所 豊田市福祉センター 41会議室

主催 子どもの権利条約フォーラム2023inとよた実行委員会

共催 豊田市

参加者数 講演会127名 実行委員向け勉強会約40名

実施内容

《目的》一般市民へのフォーラムの告知と、子どもの権利の普及及び啓発、また実行委員会内における子どもの権利の学び合いの場として実施

《何をやったか》

◎午前 講演会（一般向け）

◎午後 勉強会（実行委員長・サポーター向け）

《主な内容》

（午前 講演会の内容）※詳細はグラレコ参照

子どもの声を聴く活動を通して見える子どもの現状をお話ししていただきました。電話やチャットに加え、HPにつぶやきを投稿する「つぶやき」というコンテンツもあるなど、時代に合わせ声の受け方や子どもの声の内容も変化しているとのこと。また、電話でやり取りが成立するのは約半数にも満たず無言電話等のお試しも多く、それも一つの意味のある行動であるということで、「子どもの声を聴く」ことが「子どもの発した言葉を聴く」ことではないということを、改めて考える時間となりました。

後半では、聞く側（親）と話す側（子ども）に分かれたワークを行い、聞く側（親）の目線や態度によって話す側（子ども）がどのような印象を受けるかを体感しました。

（午後 勉強会の内容）

1. 子どもを理解するために

目の前の問題が「個じゃなくいろいろなことが一人ひとり違う絡みかたをしている」こと、見えている部分の下にある「見えていない部分」を認識することが大切。

2. 多様な性のあり方を理解する

セクシャルマイノリティは10～13人に1人と言われており、AB型の割合と変わらない。「SOGIE」（性指向・性自認・性表現）という捉え方があり、人それぞれで分類しきれない。結局のところ、「どんなあなたもそのままでもいい」という人権意識であり、差別になるかならないかは、大人の育て方の問題でもある。何かを話したときに大人があたふたしていると子どもは話せない、知識として知っておくとびっくりしない。

3. 子どもに信頼される大人になる

子どもの話を聞く前に、苦手なことなどまず自分のことを知っておく



ことで、苦手なことは他に聞けるし人に振れる。自分が頑張らずに、立派な大人であろうとしないことはむしろ信頼のためにも大切。

4. 子どもの『view』が聴かれるために

「view」は、思想・想い。まず、子どもにとって大人は存在自体がパワーであることを自覚すること、そして子どもは、自分に関わることを自分で決めるということ。だから、アドボケイトが必要。

宣言 「自分には何ができる？」参加者発表タイム

- 子どものALLY（味方・仲間・同盟）でありたい
- あたふたせずに話を聞けるといいな
- わかっているつもりにならない
- いい大人、いい人であろうとしなくていい

参加者の声・質疑応答などから

■1人でできることは大きくないが、思いを持った大人が増え、それぞれが自分の場所のできることをすることで、少しずつでも子どもたちが生きやすくなるかもしれないと思った。

■思っていたチャイルドラインの活動実態とは違って、少し驚いた。

■意見表明権について、大人に「聴く義務」があるといわれると負担が大きく苦しくなる時がある。聴くコツやポイントがあったら教えてほしい。（回答）→特性が強いと感じた子には時間を区切って終わりを伝える／話の内容を整理して返す（こういう風に受け取ったけどこれでOK?）

■「大人ぶらなくていい」ということは「大人も楽になる」と思った。

チャイルドライン 声をきく活動からみえるこどもたちの今

2023/5/13
@豊田市福祉センター

チャイルドラインとは？

子どもの声をきく活動
子どもが安心して居る場所
受けとめた声を社会に発信
子どもが生きやすい社会

16~21時
チャット
つぶやく
子どもたちの
ありのままの気持ち
New
ネット電話
みんなの
あそび場
あゆみ
1970 北沢でホットラインスタート
1998 日本国でチャイルドラインスタート
2000 チャイルドラインあいち
2009 フリーダイヤルスタート
2016 オンラインチャットスタート



NPO法人チャイルドラインあいち
高橋 弘恵さん

子どもの声が
ちゃんと聴かれる
社会へ!!

子どもたちが自分らしく
悩んだり、困ったりしても
自分は大丈夫と思える社会へ

子どもの権利条約

子どもの基本的な権利を国際的に保障するために定められた条約

4つの柱

生きる権利
育つ権利
守られる権利
参加する権利

一般原則

生命・生存及び発達に対する権利
子どもの最善の利益
子どもの意見の尊重
差別の禁止

子どもは「心身の発達過程にある者」
18歳以上でも

子どもの権利を
大人が知る必要がある

子どもの声

チャイルドライン受信 174,881件 (2022年度)

傾向
女の子
男の子
チャットが多い
電話が多い
高校生の多い
小学生の多い
自分自身
コロナ禍で自分のことが
考えられなくなっている
電話をかける理由
80%
誰かに話を聞いてほしい
12.5%
誰かに話を聞いてほしい
「愛おしい人」の安心感
心の声・大人ができること
大切な人から話を聞かせない
親は大事な話を聞かせない
消えたい
自分なことを
子どもの声をきいてほしい
ありのままを受けとめる

graphic by すがにあい

チャイルドライン 声をきく活動からみえるこどもたちの今

2023/5/13

全体シェア! & 質問!

子どもの自殺予防のために大人ができること

① 日常の表情、発言を気にしておく
② 小さな変化に気づける
③ 見ず知らずの人 = 色々言われたい
④ えらんで電話をかける

♡とざれることなく支援がつづいている
♡サービスが増えている
すばらしい!

① 子どもの意見をきく ② 子どもの声をきく
③ 子どもの意見をきく ④ 子どもの声をきく
⑤ 子どもの意見をきく ⑥ 子どもの声をきく
⑦ 子どもの意見をきく ⑧ 子どもの声をきく
⑨ 子どもの意見をきく ⑩ 子どもの声をきく
⑪ 子どもの意見をきく ⑫ 子どもの声をきく
⑬ 子どもの意見をきく ⑭ 子どもの声をきく
⑮ 子どもの意見をきく ⑯ 子どもの声をきく
⑰ 子どもの意見をきく ⑱ 子どもの声をきく
⑲ 子どもの意見をきく ⑳ 子どもの声をきく
㉑ 子どもの意見をきく ㉒ 子どもの声をきく
㉓ 子どもの意見をきく ㉔ 子どもの声をきく
㉕ 子どもの意見をきく ㉖ 子どもの声をきく
㉗ 子どもの意見をきく ㉘ 子どもの声をきく
㉙ 子どもの意見をきく ㉚ 子どもの声をきく
㉛ 子どもの意見をきく ㉜ 子どもの声をきく
㉝ 子どもの意見をきく ㉞ 子どもの声をきく
㉟ 子どもの意見をきく ㊱ 子どもの声をきく
㊲ 子どもの意見をきく ㊳ 子どもの声をきく
㊴ 子どもの意見をきく ㊵ 子どもの声をきく
㊶ 子どもの意見をきく ㊷ 子どもの声をきく
㊸ 子どもの意見をきく ㊹ 子どもの声をきく
㊺ 子どもの意見をきく ㊻ 子どもの声をきく
㊼ 子どもの意見をきく ㊽ 子どもの声をきく
㊾ 子どもの意見をきく ㊿ 子どもの声をきく



NPO法人チャイルドラインあいち
高橋 弘恵さん

Q 5/19万 会話成立 差は?

A 無言電話が多い。半分くらい
何が言いたかったかわからない

Q 時間帯?

A 子どもがかけられない
24時間目標していたが
ボランティアに対応できない

Q ツール、スマホをもてない子ども

A 学校向けタブレットに
チャイルドラインを入れていた自治体もある

Q はなしがまとまらない子に、
どう聞かせる?

A ① 時間を区切る ② 分
③ はなしをまとめて
確認する

Q 匿名性 ほどまで守られる?

A 子どもが言わなければ聞かない

Q 「今すぐ死にたい!」緊急時あるときはどうする?

A 緊急性あれば、情報を聞く→止める
今すぐ死にたい! →連絡しない子が多い

Q ボランティアさんのケアはどのように?

A ① 終了時に
② 終了時に
③ 終了時に
④ 終了時に
⑤ 終了時に
⑥ 終了時に
⑦ 終了時に
⑧ 終了時に
⑨ 終了時に
⑩ 終了時に
⑪ 終了時に
⑫ 終了時に
⑬ 終了時に
⑭ 終了時に
⑮ 終了時に
⑯ 終了時に
⑰ 終了時に
⑱ 終了時に
⑲ 終了時に
⑳ 終了時に
㉑ 終了時に
㉒ 終了時に
㉓ 終了時に
㉔ 終了時に
㉕ 終了時に
㉖ 終了時に
㉗ 終了時に
㉘ 終了時に
㉙ 終了時に
㉚ 終了時に
㉛ 終了時に
㉜ 終了時に
㉝ 終了時に
㉞ 終了時に
㉟ 終了時に
㊱ 終了時に
㊲ 終了時に
㊳ 終了時に
㊴ 終了時に
㊵ 終了時に
㊶ 終了時に
㊷ 終了時に
㊸ 終了時に
㊹ 終了時に
㊺ 終了時に
㊻ 終了時に
㊼ 終了時に
㊽ 終了時に
㊾ 終了時に
㊿ 終了時に

Q アクセスする子の層?

A 幅広い。恋愛。自分が頑張ったこと
チャイルドライン = なんでもOK
悩まなくても
感じること何もない

親、社会、
様々な立場

子どもアドボカシー
= 子どもの声

ジグリー・パズル